

Asian and Oceanian High School Students' Forum 2023

— Discussion and Cooperation with the World —

このフォーラムは、国際社会に活躍できる人材の育成とアジア・オセアニア諸国の友好親善を目的に2015年から実施され、今回で9回目、コロナ禍のため対面では、4年ぶりの開催となりました。日高高校は毎回参加しており、今回は2年生5名が参加し、発表に運営にと大活躍しました。

本校からの参加者〔担当〕

- ・稲葉 陽祐〔全体会司会・開会式進行〕
- ・柏木洋一郎〔開会式司会・全体会運営〕
- ・寺井 巴菜〔全体会発表者・分科会記録〕
- ・中村 壮太〔全体会発表者・分科会記録〕
- ・橋本 昊征〔“津波防災”発表者〕

アジア・オセアニア・県内外(高校)からの発表参加

インド/インドネシア/オーストラリア/ニュージーランド
韓国/中国/台湾/香港/モンゴル/ベトナム/カンボジア
フィリピン/ブルネイ/マレーシア/ラオス/ミャンマー
タイ/東京(帝京)/岐阜(可児)/京都(紫野)/岡山(清心女子)
/高知(中村)/向陽・粉河・耐久・新宮・開智・信愛・日高

3泊4日間の日程と主なプログラム

- 7月30日/世界遺産高野山研修ツアー
- 7月31日/開会式・参加各国紹介
- 8月1日/分科会
- 8月2日/全体会・県知事主催レセプション
- *その他 分科会、全体会打合せ、交流会

分科会（津波防災・環境・ダイバーシティ・教育・食料）

5つのカテゴリーにおいて、国・県内外の生徒たちがプレゼンテーションを行い、一般参加の高校生、FLT、教員からの質疑に懸命に応答。本校発表者の橋本君は、The gap between disaster prevention awareness and disaster prevention actions . What will you do?をテーマに「必要最小限の事前対策と避難行動、高校生が主体となった防災啓発活動」を柱とした発表と質疑への応答を行った。

参加感想（抜粋）

★このフォーラムに参加して、英語のスピーキング力が向上したと感じている。様々な国の同世代の方々と英語で話すのはとても楽しく、言いたいことが次々と出てきて話題に尽きなかった。日本の高校生とも互いの学校の違いを見つけ合うのが面白く楽しかった。また、意見を簡潔にまとめて表現を工夫して発表する能力も身についたように思う。家に帰ると、英語がない世界が少し寂しく感じるほど、英語がより大好きになった。

◇最初は英語に不安を感じたが、一番大事なのは自分の言いたいことを伝えることだと強く感じた。単語だけでも意外と何とかなると実感できた。



高野山研修と開会宣言

修了証書授与式と知事レセプション

